

BR-510(STANDING WAVE ANALYZER) ホームページ用説明書-2

SWRについて

アンテナとフィーダが完全な整合状態にあり、フィーダの損失がなければ送信電力はフィーダ上に進行波となってアンテナ方向に進みます。

フィーダ上の電圧と電流はどの点でも一定になり、このときSWRは1:1になります。

しかし整合していない場合は、フィーダ上の電圧と電流は場所によって異なり、SWRは高くなります。

アンテナとフィーダを整合させるには、アンテナの給電点インピーダンスに等しい特性インピーダンスを持ったフィーダを接続するか、フィーダの特性インピーダンスに等しくなるようにアンテナを調整すれば良いことになります。

各部の名称

1. POWER
電源をON/ OFFするスイッチです。
2. GATE TIME
周波数カウンタのゲートタイムをFAST/ SLOWに切り換えるスイッチです。
3. 周波数表示部
LEDにより、6桁の数字と小数点を切り換えるスイッチです。
4. IMP/ SWR
インピーダンス測定とSWR測定を切り換えるスイッチです。
5. HIGH/ LOW
RF発振器の切替スイッチです。 LOW側で1.8～170MHz、HIGH側で300～500MHzの発振器が動作します。
6. LOWレンジ周波数切替スイッチ
1.8～170MHzをA～Fの6レンジに分割してあります。
7. FREQ
周波数を連続的に可変または設定するためのダイヤルです。
8. メータ
上の目盛がインピーダンス、下の目盛でSWRを指示します。
9. 測定コネクタ-1
この測定端子で1.8～500MHzのSWR測定と1.8～170MHzのインピーダンス測定をします。
10. 測定コネクタ-2
この測定端子で300～500MHzのインピーダンス測定をします。(BR-510D)
(BR-510Aは、この測定端子を装備していません。)
11. 電池ボックス(裏面)
単3型乾電池を6本収納します。
12. 外部電源端子
外部の安定化電源で使用するときに付属のDCコードを接続します。

